

産振構NEWS

愛情・健康・快適・安全を提供し、 お客さま本位の経営に徹す

代表取締役社長 **武信 和也**氏
食協株式会社



広島で
ガンバル企業
p1

金型技術を活かした新部門やタイ現地法人を設立。 老舗金型メーカーの海外展開戦略

代表取締役社長 **平岡 弘幸**氏
平岡工業株式会社

海外で
ガンバル企業
p3



特集

ひろしま発の ヘルスケアビジネス発信!

～ひろしま医工連携推進センターの取り組み～

NEW!



スマホで簡単!! 動画を見よう!

使い方はP.9へ

レポート

- ものづくりへの最高峰のこだわりを再び!!
～課題解決型企業連携グループ「ヤマトプロジェクト」発足～
- 平成28年度戦略的基盤技術高度化支援事業採択プロジェクト
- 「自動車工学基礎講座2016」を開催しました
～自動車全体システムを見渡せる技術者育成をめざす～
- 新事業創出チャレンジ企業支援事業助成金の採択結果について
- 特許等の外国への出願費用を補助15社(18件)を採択!
- 平成28年度「中国ビジネスセミナー」を
4回シリーズで実施しています

インフォメーション

- 人材育成支援セミナーのご案内 仕事力向上セミナー
技術者のための「コミュニケーション・スキルUP研修」
～専門的な内容を平易な言葉で分かりやすく伝えるために～
- 中小企業・小規模事業者のための経営相談所
「広島県よろず支援拠点」出張相談会ご案内
- 海外取引や海外投資をお考えの皆様
海外事務所・ビジネスサポーターをぜひご利用ください!



三次の田んぼアート

広島で

HIROSHIMA

ガンバル企業

愛情・健康・快適・安全を提供し、 お客さま本位の経営に徹す



食協株式会社

たけのぶかず や

代表取締役社長 **武信和也**氏

- 本 社 広島市南区松川町5-9
- 創 業 1950(昭和25)年
- 事 業 内 容 米穀、食品、燃料の総合卸

日本人の主食であるコメの需要は、食生活の欧米化などで1960年代をピークに減少傾向が続いている。広島県内62の米穀卸売業者の企業組合を前身とし、半世紀以上に渡ってコメを取り扱ってきた食協株式会社では、コメの新しい価値創出を目指して時代のニーズに即した商品開発に力を注ぐ。2016年6月、新社長に就任した武信和也氏に取り組みの現状と今後の展望を聞いた。

“食協マーク”が意味する企業理念

食協株式会社は、戦後まもなく発足した「広島食糧協同組合」が100%出資する形で1991年に設立され、その主たる事業を継承した。事業の三本柱は、家庭用・業務用の精米製品を製造販売する「米穀事業」、小麦粉や米粉加工品等の食品を販売する「食品事業」、LPガスや灯油を販売する「燃料事業」。さらに今年4月からの電力自由化に伴い、新たに電力の取り扱いも始めている。テレビCMなどでおなじみの家の中に四つ葉のクローバーをあしらった“食協マーク”には、生活必需品を提供する企業として『『愛情』のこもった商品を贈ること』、『暮らしに豊かな幸せと『健康』を届けること』、『お客様のニーズに合った『快適さ』を提供すること』、そして何より『すべての商品に心やすまる信頼と『安全』を保証すること』という理念が込められているという。

「お客さまのニーズや価値観は社会事情と共に変わってきていますので、常にその時代に合った『愛情・健康・快適・安全』を徹底的に追求し、新しいニーズに応える挑戦が重要と考えています」。

変わりゆく消費者ニーズに答えて

時代とともに変わりゆく日本の食卓。とりわけ主食のコメを取り巻く環境は、食糧難でコメを円滑に配給することが使命であった戦後の組合設立時から、一人当たりの年間コメ消費量が約120kgとピークだった高度成長期を経て、現在は60kg以下にまで半減し、消費者のニーズも「より安全・安心なコメ」「よりおいしいコメ」「より簡便なコメ」と高次化、多様化している。同社は時代の変化にいち早く対応し、消費者目線での商品開発に挑戦してきた。

「より安全なコメ」を提供するために、1960年代から近代的な大型精米工場を完備し、精米生産トレーサビリティシステムの運用やISO9001の認証取得など、常に品質の向上を追求。近年は101項目の品質チェックをクリアした商品に「安心・安全マーク」を付して販売している。また、精米技術やブレンドなどの工夫はもとより、全国のブランド米生産地からの買い付けなどにより、「より美味しいコメ」を提供している。さらに「より簡便なコメ」として1993年から無洗米の生産販売を始め、近年は栄養価が高い玄米を手軽に味わえる『簡単に炊けるプッチッと玄米』やコメのシリアル『ライスグラノーラ』などオリジナル商品を開発した。また、健康志



「簡単に炊けるプチッと玄米」「ライスグラノーラ」「炊けるっ酢」などさまざまな商品を展開。



社員の皆さん



広島女子サッカーチーム「アンジュヴィオレ広島」をメインスポンサーとして応援



全国から選りすぐったコメを、絶妙にブレンドした最高級のお米「金のごはん」。

向のニーズに応えるため、株式会社サタケが開発し、お米で初めて機能性表示食品として受理され、血圧が高めな方に適した機能を有した『無洗米GABA(ギャバ)ライス』の製造技術を利用し、鳥取西部農業協同組合とのコラボレーションで、同商品の商品開発も進めている。簡便化志向の高まりで成長著しいコンビ弁当などのいわゆる中食(なかしょく)市場への販路拡大も重点戦略の一つだ。「私たち卸売業は、生産者と消費者の間で品質や価格のバランスを取る役目を担っています。過剰な価格競争はどこかに無理が生じますし、消費者も安さばかりを求めているわけではないはず。安全・安心、美味、簡便に加え、今後は更に付加価値の高い商品が提供できるよう取り組みたい」と燃料事業、米穀事業などの第一線の営業畑を歩んできた武信社長はいう。

商品開発で卸売業の新たな機能創出

1989年、「卸売業の新たな機能創出」を目指して研究開発部門を設置した同社では、前述の『プチッと玄米』や、酢飯が簡単に炊ける『炊けるっ酢』、『プチッとニーム(防虫剤)』、はく離米糠を利用した子豚用人工乳(飼料)といった自社商品の開発も手掛けている。

直近のトピックスとしては、昨年度、中国経済産業局から採択を受け、広島県立総合技術研究所、県立広島大学、鹿児島大学を共同研究機関に、ひろしま産業振興機構を事業管理機関として、3年計画で取り組んでいる「戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)」での「業務用炊飯での使用油脂の大幅削減を可能とする米糠由来乳化素材を用いた炊飯油の実用化開発」がある。

「この開発は、精米工場ならではのバイプロダクト(米糠)の有効

な利用技術を確立すると共に、この開発商品の提供により大型炊飯工場が抱える課題に応え、コメ業界全体の活性化に繋げるものです。このような競争的資金の活用は、人・物・金・情報のすべての面で研究開発を加速するためのものと考えていますので、広島発信の“新たな価値の創造”として、この開発での成果を一日も早く事業化に結び付けていきたいと考えています」と武信社長は語る。

地域に根差しながら、海外展開も視野に

同社は、また、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。7年前より広島県内の子ども達を対象にした田植え・稲刈りの体験ツアーを開催。本社前に広島市経済局の後援を得てミニプランターを設置し、近隣の段原小学校の児童に田植えや稲刈りを体験してもらい取り組みも行っている。昨年度からは、小学生を対象に「夏休み精米工場見学ツアー」も始めており、「飽食の時代だからこそ地域の次代を担う子供たちに一粒のコメのありがたさ、食の大切さを学んでもらいたい」という思いからの食育面での地域貢献に取り組んでいる。

そのほか広島女子サッカーチーム「アンジュヴィオレ広島」のメインスポンサー契約をはじめ、観戦チケットが当たる「広島東洋カープ応援キャンペーン」、ママさんバレーボール大会や少年ソフトボール大会の協賛などといったスポーツ振興にも貢献している。

「地域の皆さんから愛され、信頼を得ることが当社事業の基盤。今後も地域に根差ししていくことに変わりありませんが、いずれは海外進出も視野に入れ、東京、九州へと拠点を広げながら新しいビジネス展開に挑んでいきます」。武信社長はすでに10年先、20年先を見据えて走り出している。



特有の光沢や香り、食味豊かな味が自慢の米です。



広島生まれの新ブランド米「ほたる米」

広島県のほぼ真ん中、自然豊かな福富・大和・志和地区で生産されたコシヒカリとあきるまん。昼夜の寒暖差とほたるが生息する清流によって育まれた安心・安全で美味しさと栄養をたっぷり蓄えたコメが「ほたる米」です。今年6月には電子レンジで温めれば、すぐに炊きたての美味しさが味わえる食協初の無菌パックライスも登場して、ますます便利に!





海外で

GLOBAL

ガンバル企業

金型技術を活かした新部門やタイ現地法人を設立。老舗金型メーカーの海外展開戦略



専務取締役
平岡 良介氏

代表取締役社長
平岡 弘幸氏

相談役
平岡 喜三男氏

平岡工業株式会社

ひらおかひろゆき

代表取締役社長 平岡弘幸氏

- 本 社 ・ 工 場 広島市安佐南区伴南2丁目5番19-31号
- 創 業 1937(昭和12)年
- 事 業 内 容 自動車用、産業用金型の設計、製作、
切断折曲機の製造、販売、各種機械・部品の設計、製作、
フォトレリーフ・アートミラーの製作

日本の金型産業は高い技術力で世界一ともいわれるシェアを誇り、長く国内製造業の国際競争力を牽引してきた。しかし、国内市場の縮小や、経済のグローバル化に伴う日本企業の海外生産の進展などにより経営環境は激変。生き残りをかけた変革を迫られている中、海外展開、生産体制の見直しや新事業人材育成などに積極的に取り組み、3年連続増収・増益を果たしている金型メーカー・平岡工業株式会社を訪ねた。

自動車のゴム部品用金型を主軸に成長

来年で創業80周年。現在も大切に保存されている「平岡鐵工所」の表札看板は、原爆被災で全焼した創業時の工場(旧広島市楠木町)に掲げられていたものだ。平岡工業の始まりは、縫針製造の企業で働いていた創業者の平岡浅次郎氏が独立し、鉄工所を創始したことにあるという。原爆被災により一時は休業に追い込まれたものの、1948年、現在の相談役である平岡喜三男氏が再興。1955年には、やがて主力事業となるゴム成形用の金型製造部を新設した。

同社の事業との関連も深い日本の自動車産業は、1950年代後半、国内市場の急成長と輸出拡大に対応して生産力を飛躍的に増大させ、1965年以降、世界の自動車生産の一角を占めるまでに成長した。戦後、自動車用シール業界へ進出し、その技術力でトップメーカーとなる西川ゴム工業と歩みを同じくして、同社のゴム成形用金型はシェアを伸ばしていった。自動車のドアと車体との密閉性を確保するドアウェザーストリップなどのゴム部品の製造には精巧な金型が欠かせないためだ。

ゴム部品のための金型は、同じ自動車部品でもプラスチック部品の金型に比べて市場規模は小さいが、より複雑な形状であることなどか

ら、簡単には参入できない分野といわれる。そのような業界においても、同社はコンピュータ制御による製作などに早いうちから取り組むなど、強みの確保につとめており、このような姿勢が業績にも反映されているといえるのだろう。

一方で、相談役は「自動車用の金型製造は、一年の間にも業務の繁閑の差が大きい」と指摘する。閑散期の事業を確保することが課題の一つであり、それへの対応として自社製品を創出することが考えられた。

1965年には、鉄板の「切断」と「折曲加工」を1台でこなす手動切断折曲機を発明。鉄工所や自動車整備工場、工業高校など広島県内外、更には海外にも納入する大ヒット。「工作機械1.5台分の費用で2台分の機能があることと省スペースに貢献すること」がその要因と会社では分析している。その後、よりパワフルな油圧タイプも開発し、現在に至るまで切断折曲機の製造販売は事業の柱の一つに位置付けられている。この切断折曲機の開発で相談役は「広島市優良発明功績者」の荣誉に輝いた。「このような自社製品の製造も含め年間を通じて工場をほぼフル稼働できるのは当社の強みでもあります」と話す。



昭和48年に「広島市優良発明功績者」を受賞。
相談役の平岡喜三男氏



開発から半世紀経った今も現役
で活躍している手動切断折曲機。



蓄積した金型技術を3次元CAD/
CAMシステムに集積。



社員の皆さん



2015年に導入したマシニングセンタ。

自動車産業の一大集積地タイに進出

2006年、同社は楠木工場、吉田工場を統合して安佐南区伴南セントラルシティ産業用地に完成した本社工場での操業を開始。人・設備を集約し、金型用3次元CAD/CAMシステムや最新鋭の工作機械を導入して、高品質・高精度かつ低コスト・短納期で製品供給できる一貫生産体制を確立した。これによって年間300~400種類の金型製作が可能となり、欧米への輸出用も手がけるように。さらに2012年には「アジアのデトロイト」と称されるほど自動車産業の一大集積地となったタイに現地法人を設立し、念願だった海外進出を果たす。

遡ること十数年前、「ひろしま産業振興機構国際ビジネス支援センター」がタイ国政府通商代表事務所と共催した現地の工業団地視察に参加して以来、「いつか海外でやってみたい」という思いを抱いていたという。「決断のきっかけはリーマンショック以降の国内市場の停滞。やはり生産拠点やお客さんを海外に広げていく必要があると。産振構さんに相談して、計画立案時にも産振構さんからの情報も活用させていただきました。かねてから現地に進出している取引先から、金型のメンテナンスなどの現地対応の要望があったこと、タイの人びとは親日的と感じたこと、インフラなどの環境が整っている点などを総合的に判断して決めました。特に海外の拠点からの金型メンテナンス・改造の要望への対応は、それまで日本に送って、送り返してと往復の時間がかかっており、企業の競争力に直接影響する問題でしたが、現地対応で一定の改善が期待できます」と現地法人の代表を兼任する3代目の平岡弘幸社長。

当初は初期投資を抑えるためレンタル工場にする予定だったが、2011年の大洪水で混乱をきたし、結局自社で建設することに。その分の資金調達追加が必要となり、順風満帆とまではいかなかったが、立ち上げから社長自身が現地で指揮を執り、これまでの国内での事業では取引のなかった日系企業との取引も始まるなど成長軌道に乗せつつある。社長は年に数回帰国する程度だが、電子メールの活用やインターネットを活用したテレビ会議の実施など

により、国内の事業を担当する専務取締役の平岡良介氏も、相談役も、社長同様に「距離は感じない」と断言し、同社の海外展開業務の進捗がうかがえる。

社長は「タイ工場の目標は、安定受注の獲得。信頼を得ることがまず大事。徐々に結実しつつあると認識しているが、まだまだ足りない」と続ける。昨年は「ひろしま産業振興機構経営基盤強化センター」が実施した、ものづくり企業販路拡大促進事業の一環で広島ブースを設置した機械部品見本市「メタルクスベトナム2015(ホーチミン)」に出展し、現地企業との商談会に参加。今年6月には金型加工の最新技術が集結する「インターモールド2016(バンコク)」に出展して精力的に取引先を開拓している。「金型はもちろん、金具や切断折曲機の製造からメンテナンス、さらに新部門のレリーフも含め、日本でできることはタイでも可能にしたい。いずれはアジアのハブ工場として機能強化するべく、地歩を固めているところです」。

金型技術を活かしたユニークな新事業

2009年に事業化したフォトレリーフ製作も、やはりリーマンショック後の自動車用金型の受注低迷に端を発した試み。写真を元に浮き彫りに立体加工をするため、非常に再現性が高いレリーフだ。マツダスタジアムのスロープに設置された広島東洋カープの歴代スター選手のレリーフ「カープの星」で一躍注目を集め、近年では企業や学校からの受注も増えているという。新事業を統括するのは平岡良介専務。「従来の製品とは毛色が異なりますが、これも長年培ってきた金型づくりの削りや磨きの技術を生かしたものです。レリーフを見て当社の技術に興味を持ったという人も多く、若手技術者のリクルートに思わぬ効果を発揮しています」と笑顔をみせる。女性の技術者も多い工場内は冷暖房完備、さらにリフレッシュルームや音楽スタジオなどを設け、魅力ある職場づくりにも工夫を凝らす。「モノづくりはヒトづくり」の実践が現場の活気につながり、さらには成長の原動力につながっている。



「その一瞬」を永遠に残すフォトレリーフ

約1週間かけて写真から3Dデータを作成し、これを100分の1ミリ単位の精密な加工技術で浮き彫りに。立体感を出すため陰影をつけていく作業や表面処理は熟練の技が必要だ。そのため自社の技術力のプレゼンツールにもなっている。マツダスタジアムに行ったことのある方なら「ああ、あのレリーフを作った会社ね」と思われるはず。それほどに生き生きとした躍動感のあるレリーフはインパクトが大きい。

天応笹酒まつり



呉市天応地区の笹酒まつりを題材としたレリーフ

同じく写真をデジタル加工してアクリルミラーに刻む「アートミラー」も好評。



医ノバージョンひろしま～ひろしま発のヘルスケアビジネス発信!～

～ひろしま医工連携推進センターの取り組み～

Topics

1

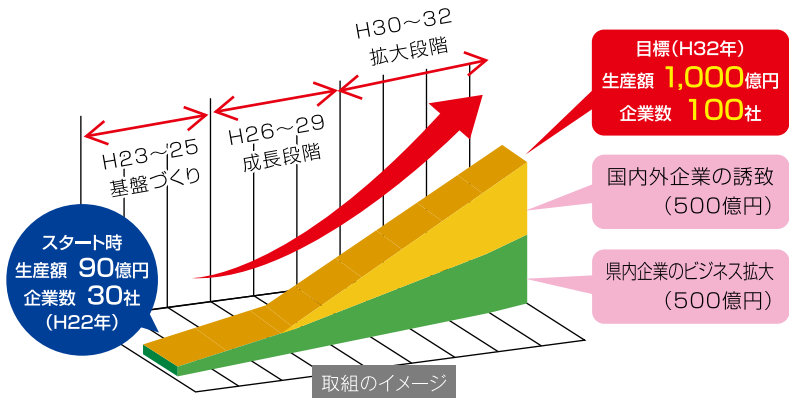
医療関連産業クラスター アクションプラン

超高齢化社会を迎えた現代。医療・福祉への需要が高まる中、広島県は次世代をリードする重点産業に「医療関連産業」を位置付け、平成24年7月に「医療関連産業クラスター アクションプラン」を策定しました。

広島県の強みであるものづくり力を活かした医療・福祉分野における新たな産業の育成に、県をあげて取り組んでおり、ひろしま産業振興機構も広島県と連携し、様々な企業支援を実施しています。

平成22年度の県内における医療機器等生産額90億円を平成32年度に1,000億円とすることを目標に、10年を3つのステージに分け計画的に推進しています。平成23年度から25年度までは、支援体制の整備やひろしま医療関連産業研究会の設立、支援メニューの創設など、クラスター形成に向けた基盤づくりを実施してきました。

現在、クラスター形成は「成長段階」の中盤であり、引き続き支援体制やメニューを強化・拡充するとともに、「ひろしまヘルスケア実証フィールド」の運営などひろしま発のビジネスを創出する取組を積極的に推進することで、医療関連産業のさらなる発展を目指しています。



Topics

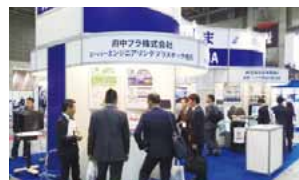
2

企業の事業化フェーズに応じた支援策

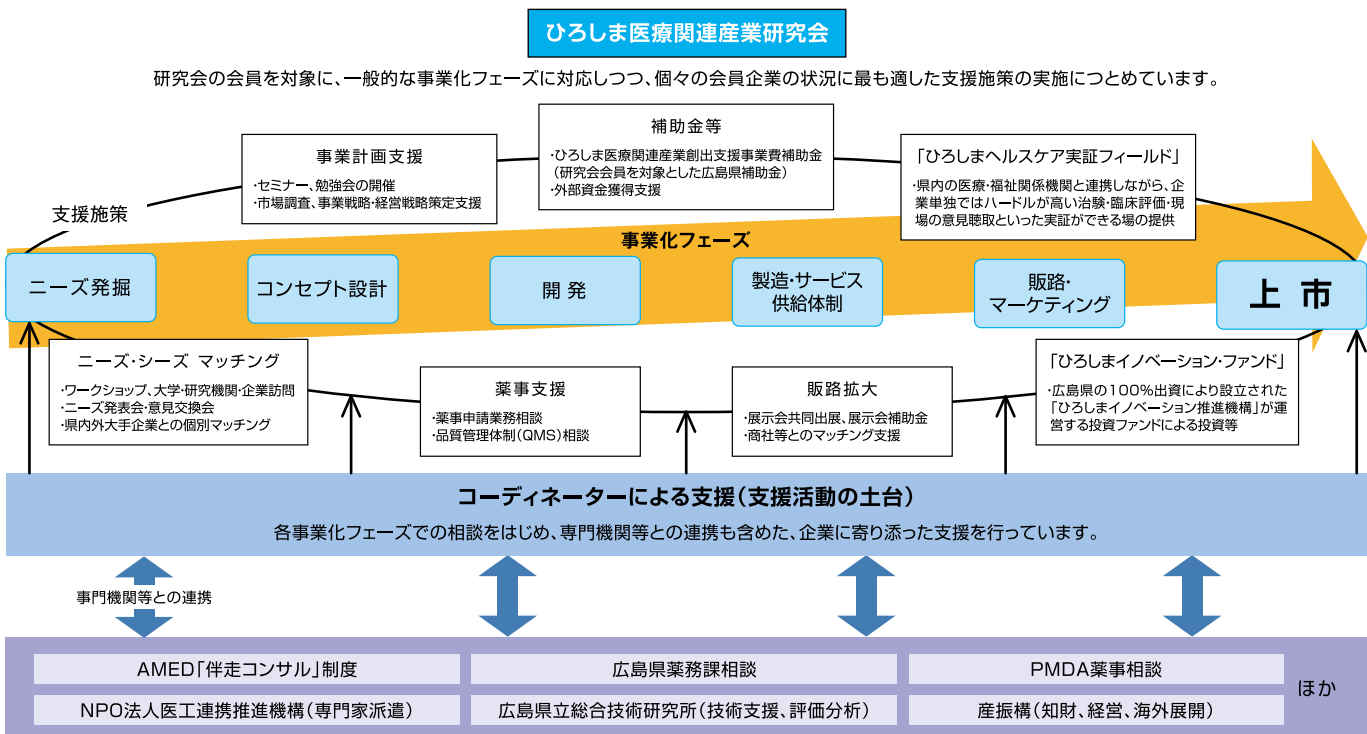
医工連携推進センターは、医療機器メーカー、大手電機メーカー等のエンジニア、営業部門OBなど、開発から販売まで幅広く対応可能なコーディネーターを擁しており、「ひろしま医療関連産業研究会」(平成28年7月末現在会員数384(うち企業338,その他46))の会員を対象とした、企業の各段階に合わせたサポートを無料で実施しています。

マーケティング、開発相談を始めとして、医療・大学機関への紹介・随行、必要技術・販路を持つ県内外の企業とのマッチング、外部の助成金取得支援等、案件に応じて、外部リソースの活用も含めた手厚いサポートを行っています。

また、研究会HP・県HP、パンフレットへの企業紹介記載、セミナー、勉強会、展示会等へのお誘い、メルマガ等による各種最新・有用情報のご提供等、様々な支援を随時行っています。



支援のひとつ「展示会共同出展」(MEDTEC Japan 2016)



ワークショップによる新たな案件の組成

医工連携推進センターでは、新規参入・啓発のためのセミナー、専門家講演会、ニーズ発表会、専門的な技術習得・薬事等に関する勉強会、コーディネーターによるマッチング活動などを実施してきました。このような取組の中で、ひろしま医療関連産業研究会の会員企業のうち約100社が機器・サービス開発、販売など150案件のプロジェクト(製品開発等)に取り組んでいます。



このような企業の皆様の動きをさらに発展させ、事業化・製品化に向けての取組が加速できるよう、本年度は、コーディネーターによるマッチング等の活動やメルマガによる情報発信に加え、新たなプロジェクト案件の組成につながる取組や、個別プロジェクトが事業化・製品化に結びつくための支援に重点化した事業(ワークショップ)を実施しています。

ひろしまヘルスケア実証フィールド

上記を始めとする支援策によって製品開発を進める上で、現場のニーズを踏まえた「売れる」製品を作ることが大変重要になります。

広島県では、医療機関・福祉施設などと連携し、医療機器・福祉機器等の様々な評価・臨床試験などを行うことのできる「実証フィールド」に取り組んでいます。平成26年の取組開始から平成27年度までに、160の機関(医療系57、福祉系103)で、80件(県内企業:52件、県外企業:28件)の製品の实証フィールドを行いました。

実証フィールドを活用することによって、企画・開発段階で現場の声を反映でき、「作ったのに売れない」を防ぎ、「買ってもらえる」製品につなげることができます。

実証フィールドのご利用を検討の際は、医工連携推進センターまでご連絡ください。



2016 日米医療機器イノベーションフォーラム in 広島

US-Japan Medtech Frontiers、日米医療機器イノベーションフォーラム in 広島実行委員会(広島県、広島大学、中国経済連合会、ひろしま産業振興機構)は、「2016 日米医療機器イノベーションフォーラム in 広島」を開催いたします。

日本の医療機器ビジネス醸成のため、政府関係組織、大学、医療機関、企業が協力し、各県で医工連携の取組を進めています。一方で、医療機器の輸入比率は年々増加し、貿易赤字も増加しているという現状に鑑み、本フォーラムでは、広島県、岡山県、山口県、各県の取組・現状から、日本医療機器ビジネスの課題、障壁を明らかにし、世界最大の医療機器市場にして、最大の生産国である米国のBiodesign手法の適用、日米のタイアップによる解決法を、具体的な成功事例を挙げながら議論することを目的として開催されるものです。

今後の医療機器開発、課題解決の参考として、奮ってご参加ください。

【日 時】 平成28年10月19日(水) 10:00~18:00(懇親会 18:00~19:30)

【会 場】 広島国際会議場「ヒマワリ」(日英同時通訳有) (広島県広島市中区中島町1-5)

【定 員】 500名(HPからの事前申込み要 ※定員に達し次第締め切りとなりますのでお早めにお申し込み下さい。)

【参加費】 無料(※18時からの懇親会に参加される場合は、当日5,000円のお支払いが必要になります。)

【フォーラムHP】 <http://www.jp-us-mdif2016.com/>

お問い合わせ

ひろしま医工連携推進センター

TEL 082-240-7709 E-mail: ikouren@hiwave.or.jp

(アクションプラン、実証フィールド、イノベーションフォーラムについてのお問い合わせ)

広島県 商工労働局 医工連携推進プロジェクト・チーム

TEL 082-513-3351 E-mail: syoikourenpt@pref.hiroshima.lg.jp

REPORT

ひろしま産業振興機構が実施・協力した事業の概要をご報告します。

REPORT 1

ものづくりへの最高峰のこだわりを再び!! ～課題解決型企業連携グループ「ヤマトプロジェクト」発足～

ひろしま産業振興機構では、広島県内のものづくり企業20社（県西部10社・県東部10社）で組織する、課題解決型企業連携グループ「ヤマトプロジェクト」を発足しました。

（※参加企業一覧）

近年、完成品メーカーの外注はコストダウン及び短納期化へ対応するため、発注単位が単体部品（単加工）から、複数の種類の加工・組立が必要となるアセンブリ化への傾向が見られ、地域中小サプライヤーが健全な受注活動を継続していくためには、より付加価値の高いアセンブリ製作に対応することが肝要となっています。

そのため、県内中小サプライヤーの経営資源を共有し、相互活用することにより製品開発力、生産技術力及び営業力を相乗的に高め、課題解決型の受注活動を推進することが望まれています。「ヤマトプロジェクト」はこれに対応するための企業連携の取組みです。「ヤマトプロジェクト」は、当時の最高峰の技術力を結集して広島で誕生した「戦艦大和」に思いを馳せ名付けたものです。

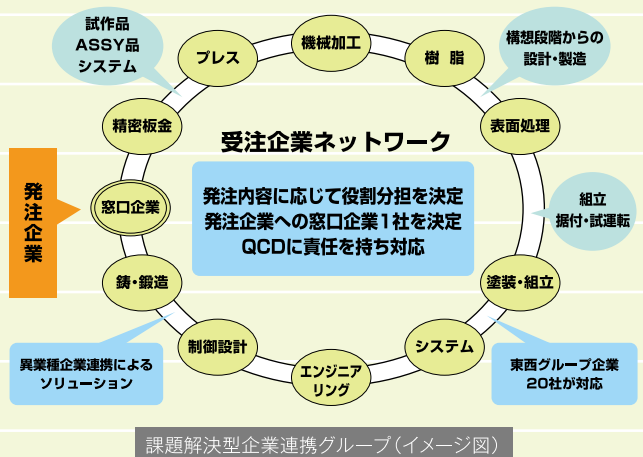
当方は、具体的なロードマップの策定に始まり、運営に必要な諸規程の基盤整備、参画企業の相互理解を深めるための交流、受注案件を増やすための展示会・商談会へのグループ参加を行っていきます。将来的には、法人化なども視野に入れた自立化を目指しています。

ヤマトプロジェクト			
県西部		県東部	
(株)アルタス技研	(株)エムテック	(株)井上鉄工所	圓光産業(株)
(株)岡村鉄工所	(株)木下製作所	(株)澤井製作所	(株)辰上工業
(有)広陵発条製作所	(株)高村興業所	(株)制電社	タイム(株)
(株)広島精機	(株)ブラディア	(有)福山エンジニアリング	プレコ技研工業(株)
(株)ギケン	(株)ナム	真辺工業(株)	(株)和田製作所

- ＜今後の財団支援方針＞
- ・月1回の連絡推進会議
 - ・共同パンフレット等プロモーションツールの整備
 - ・VA/VEセミナー等資質向上促進
 - ・先進グループ視察・交流
 - ・発注案件の情報交流会
 - ・展示会・商談会への参加 など



ヤマトプロジェクトWEST 月例会議



課題解決型企業連携グループ(イメージ図)

【お問い合わせ】
経営基盤強化センター 販路開拓支援担当 TEL 082-240-7704 FAX 082-242-8627

REPORT 2

平成28年度戦略的基盤技術高度化支援事業採択プロジェクト

当財団を事業管理機関として3件の研究テーマが採択されました。(中国地域5件採択、全国114件採択)

研究開発計画名	開発内容	技術区分	研究実施機関
航空機用繊維強化樹脂材料の高効率曲面仕上げを可能とするフレキシブルメタルシートの実用化開発	航空機用繊維強化樹脂曲面材のヤスリを用いた仕上げ加工では、多大な労力と時間を要しており、切れ味がよく、耐久性と柔軟性を併せ持つ新規な加工ツールが求められている。本研究開発は、板厚0.5mmの金属シートに精密切削・研磨仕上げを可能とする独自考案の微細な目立てを施し、さらに表面にダイヤモンド等の砥粒をCNT複合メッキにより固着させ、耐久性を高めたフレキシブルメタルシートの実用化をもって、川下ニーズに応える。	精密加工	(株)オリオン、 国立研究開発法人 産業技術総合研究所、 広島県立総合技術研究所
自動車用デフギアの高強度化を実現するための高精度歯面設計システムの構築	高精度測定技術を利用して実態のデフギア歯面形状を読み取り、そのデータから高精度強度解析を行うことで、解析からピッチング強度を高精度に予測できるシステムを構築する。さらにそのシステムから歯面形状を最適化することで、デフギアの高強度化を実現する。	精密加工	(株)音戸工作所、 広島県立総合技術研究所
二酸化炭素排出削減に貢献する超小型・軽量、高効率な電動ウォーターポンプの開発	自動車の二酸化炭素排出削減の対応として、電動車両の増加と共に主流となりつつある過給ダウンサイジングエンジンに、水冷インタークーラー冷却用の電動ウォーターポンプが必須となる。先行研究で他社品に対して圧倒的に小型、軽量の製品の見通しが得られたため、実用化、事業化に向けた研究開発を行う。	接合・実装	(株)久保田鐵工所、 広島県立総合技術研究所、 (株)ASM

【お問い合わせ】
研究開発支援センター TEL 082-240-7712 FAX 082-242-7709
<https://www.hiwave.or.jp/purpose1/subsidy/strategy/>

「自動車工学基礎講座2016」を開催しました ～自動車全体システムを見渡せる技術者育成をめざす～

【開催日】(前期)平成28年6月14日～15日 【会場】広島県情報プラザ
(後期)平成28年7月20日～21日 【受講者数】33社85人、6大学10人

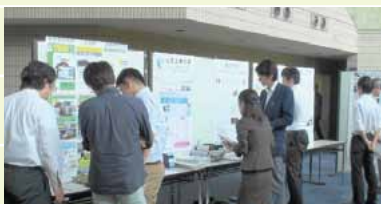
昨年に続き、「自動車工学基礎講座2016」を(公社)自動車技術会との共催にて開催しました。自動車技術全体を基礎的かつ体系的に習得することにより、自動車全体システムを見渡せる幅広い視野と実践的スキルを身につけた人材の育成をめざしています。

今年度は、より理解を深めていただけるよう、いくつかの企画を加え、講座の充実を図りました。

会場にはエンジンのカットモデルなどの部品を多数展示し、受講者は部品に実際に触れながら、その構造・しくみを確認していました。また、大学などの研究成果ポスター展示を行い、技術情報の収集に役立てていただきました。交流会では受講者どうし、講師の先生方とのつながり形成の場として活用いただきました。

【受講者の声】

- ・車について知りたかったので、このような充実した講座を受講でき良かった。仕事に活かしたい。(講座)
- ・もう一度乗りたくなる楽しいクルマづくりはユーザー目線でものづくりを行う事だと理解した。一流の製品にふれる事も大切だと感じた。(特別講演)
- ・実際の製品を見ることでプロセスが分かり、参考になった。(カットモデル展示)
- ・自動車の仕組みについて、映像で見る事ができたので、理解しやすかった。(DVD上映)
- ・様々な企業の方から貴重な意見、情報をいただく事ができた。(交流会)



ポスターセッション(最新研究事例の紹介)



特別講演(ロードスター主査の貴島氏)



部品展示見学(エンジンカットモデルなど)



交流会(人的ネットワークの形成)



振動騒音計測デモ



講義風景(12技術分野にわたる講義)

【お問い合わせ】

カーテクノロジー革新センター TEL 082-240-7713 E-mail:ve@hiwave.or.jp

新事業創出チャレンジ企業支援事業 助成金の採択結果について

ひろしま産業振興機構では、新技術・新商品・新サービスの発掘に基づく成長戦略の支援強化策として、事業化、市場化段階の取り組みに対し、資金助成する事業を実施しています。本年度は2回公募を行った結果61件の応募があり事業化15件、市場化11件を採択しました。

【採択結果 (第1回・2回)】(採択金額 36,999千円)

(順不同)

【事業化】企業名	所在地	【市場化】企業名	所在地
イトク食品株式会社	尾道市	高原安瀬平乳業有限会社	三次市
シグマ株式会社	呉市	坂本デニム株式会社	福山市
株式会社神石高原ティアガルテン	神石郡	株式会社テイケン	呉市
田中化工機工業株式会社	広島市	株式会社プロテック	福山市
株式会社テクノクラーツ	広島市	真辺工業株式会社	府中市
友鉄工業株式会社	広島市	株式会社ミカサ	広島市
株式会社ブローバホールディングス	広島市	株式会社みつぎ交流館	尾道市
丸善製菓株式会社	尾道市	ヤマトフーズ株式会社	広島市
株式会社みなり	広島市	株式会社松創	府中市
株式会社イープラン	福山市	有限会社仙石組	三原市
株式会社ケミカル山本	廿日市市	有限会社広島ピーエス	東広島市
有限会社工房志楽	広島市		
株式会社濱田製作所	呉市		
株式会社ヒロテック	広島市		
松井利光	福山市		

【お問い合わせ】

起業化・事業化支援担当 TEL 082-240-7701 FAX 082-249-3232

特許等の外国への出願費用を補助 15社(18件)を採択!

広島県中小企業知財支援センターでは、県内中小企業者様を対象に、戦略的な外国への特許出願等を促進するため、外国出願に要する費用の一部を補助する事業を実施しました。第1回の公募を5~6月にかけて行った結果、15社(18件)を採択しました。なお、8~9月にかけて行った第2回公募の結果は、10月に公表予定です。

【採択結果(第1回)】

・採択企業・権利種別等

種別等	企業名(件数)	業種	所在地
特許 7社・7件	テラル株式会社(1)	はん用機械器具製造業	福山市
	株式会社テクノクラーツ(1)	機械設計業	広島市南区
	株式会社フェニックスバイオ(1)	医薬品開発受託試験サービス業	東広島市
	株式会社ヒロテック(1)	自動車・同附属品製造業	広島市佐伯区
	オー・エイチ・ティー株式会社(1)	電子基板検査装置製造業	福山市
	株式会社フーズアイ(1)	畜産食料品製造業	広島市西区
	早川ゴム株式会社(1)	ゴム製品製造・販売業	福山市
商標 9社・11件	株式会社ヒロタニ(1)	自動車・同附属品製造業	東広島市
	株式会社フェニックスバイオ(1)	医薬品開発受託試験サービス業	東広島市
	宇治園製茶株式会社(1)	製茶・卸小売業	尾道市
	有限会社イタリー亭(1)	食料品製造業	広島市佐伯区
	有限会社瑞穂(1)	筆製品製造業	安芸郡熊野町
	株式会社松創(1)	家具製造業	府中市
	堂本食品株式会社(1)	食料品製造業	広島市安佐南区
	株式会社田頭茶店(1)	食料品製造業	呉市
	有限会社土井酒店(3)	食料品製造業	呉市

・採択金額 10,400千円

【お問い合わせ】

広島県中小企業知財支援センター TEL 082-240-7718 FAX 082-249-3232

平成28年度「中国ビジネスセミナー」を 4回シリーズで実施しています

13億人を超える人口を誇る中国は、市場として非常に魅力的であるのはもちろんですが、近年ではサービス産業やネット通販、医療・介護など幅広い分野で新たなビジネスチャンスが生まれています。

当セミナーは、「中国進出に向けて中国ビジネスを学びたい」「中国ビジネスで課題を抱えている」などのご要望やお悩みにお応えし、皆様の中国ビジネスへの取組み拡大の一助としていただくことを目的に、平成25年度から毎年実施しています。今年度は4回シリーズで実施しており、第2回までの実施状況は次のとおりです。



実施日	第1部	第2部
第1回 平成28年7月5日(火)	「中国進出の考え方 ～プロダクトアウトからマーケットインへ～」 三島食品(株)取締役管理本部長 野口英善氏	「中国最新情報 ～爆買い規制の波紋と今後～」 (株)チャイナネットワーク代表取締役社長 孫光氏
第2回 平成28年8月31日(水)	「知っておくべき中国進出時の知財情報」 (公財)ひろしま産業振興機構広島県中小企業知財支援センター知財戦略マネージャー 佐藤元春	「中国最新情報～中国市場販路開拓最新線～」 (株)チャイナネットワーク専務取締役 遠藤誠氏

【参加者の声】

- ・地域の海外進出企業の体験談が聞けたので、非常に満足でした。
- ・市場、ニーズに合った商品やサービスの提供が大切だと感じました。
- ・とても分かりやすく、中国展開を考えるうえでためになりました。

第3回は10月下旬、第4回は3月上旬に実施予定です。講演の詳細や参加申込については、当財団のウェブサイトをご確認ください。

*各回、講演会後に個別相談会(要事前申込)を実施

【お問い合わせ】

国際ビジネス支援センター TEL 082-248-1400 FAX 082-242-8628

<https://www.hiwave.or.jp/purpose1/international/>



マークのある写真をケータイで読み取って
動画を見よう!

AR利用方法

動画を見るにはCOCOAR2アプリをダウンロード(無料)

*「COCOAR2」のご使用は、Wi-Fi、LTE環境を推奨しています。回線混雑状態等により画像の認識や動画再生が遅くなる場合があります。スマートフォンのみ対応しています。

インストール後、
アプリを起動し画像を
スキャン。認識されると
コンテンツが流れます。

iPhoneの場合

右記のQRコードを読み取りアプリをダウンロードしてください。



または…

アプリ検索 検索

Androidの場合

右記のQRコードを読み取りアプリをダウンロードしてください。



または…

アプリ検索 検索

101号は2016年12月まで公開!

INFORMATION

ひろしま産業振興機構が実施する支援事業や制度、さまざまなイベントの開催等、最新の情報をご案内します。


仕事力向上セミナー

人材育成支援セミナーのご案内

受講料
無料

技術者のための「コミュニケーション・スキルUP研修」～専門的な内容を平易な言葉で分かりやすく伝えるために～

カーテクノロジー革新センターでは、技術者のビジネスパーソンとしてのスキル向上を支援する新しい研修を始めます。今年度は、その第1弾として、上記の研修を実施します。皆様の参加をお待ちしています。

- | | | | |
|---|--|---|--------|
| ●対象者
研究開発部門、技術部門、製品開発・商品企画部門の方や技術者教育担当の方に | ●定員 24名 |  | |
| ●セミナーのねらい
・技術者が陥りがちなコミュニケーションの落とし穴を知り、コミュニケーションの重要性を再認識する。
・“伝える”“聴く”スキルのポイントを身につける。
・発言、態度などの背後にある人間心理を読み解き、円滑にコミュニケーションを取るためのヒントを得る。 | ●プログラム
第1章 コミュニケーションとは何か
第2章 相手に“伝える”
第3章 相手から“聴く”
第4章 人間心理のコントロール
第5章 課題形成 | | |
| ●講師
学校法人産業能率大学 総合研究所 経営管理研究所 | ●日時
平成28年11月30日(水)9:00~17:00 | | 小林 幸平氏 |
| ●会場
広島県情報プラザ2F 視聴覚研修室 | | | |
| | | | |

セミナーの詳細については、カーテクノロジー革新センターのHPをご覧ください。 <https://www.hiwave.or.jp/atic/>

【お問い合わせ】 **カーテクノロジー革新センター** TEL 082-240-7713 E-mail: ve@hiwave.or.jp

中小企業・小規模事業者のための経営相談所「広島県よろず支援拠点」出張相談会のご案内



- よろず支援拠点とは
中小企業・小規模事業者の皆様の売上拡大・経営改善など、経営上のあらゆるお悩みの相談に対応します(相談無料、回数・時間無制限)。平成26年6月に当財団内に開設された「広島県よろず支援拠点」では、中小企業・小規模事業者の皆様の経営相談を受け付けていますが、遠方の相談者の利便性を考慮し、地域中小企業支援センター、商工会議所・商工会、金融機関等と連携して県内各地で出張相談会を開催し、各地域での経営相談を受け付けています。
- 対応スタッフ
公認会計士、中小企業診断士、ITコーディネーター、デザイナー等をはじめ、法律の相談に対応するため弁護士も加えました。
- 出張相談会開催地域
福山市、尾道市、因島市、三原市、東広島市、呉市、竹原市、廿日市市、大竹市、三次市、府中市等
なお、今後の開催予定については、当財団ホームページにて随時ご案内いたします。

【お問い合わせ】

広島県よろず支援拠点

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ1階
TEL 082-240-7706 FAX 082-249-3232
E-Mail: h-yorozushien@hiwave.or.jp

福山サテライト

〒720-0031 福山市三吉町1-1-1 広島県福山庁舎内(第3庁舎7階)
TEL 084-926-2670 FAX 084-932-2917

※福山サテライトにはコーディネーターが常駐しませんので、事前にお問い合わせください。

海外取引や海外投資を お考えの皆様

海外事務所・ビジネスサポーターをぜひご利用ください!

国際ビジネス支援センターでは、海外事務所(1カ所)・海外ビジネスサポーター(10カ所)を設置し、県内企業の海外ビジネスを支援しています。現地の経済関連情報の収集提供、展示会等への出展協力、ビジネスマッチング及び便宜供与などを行っています。まずは、国際ビジネス支援センターまでお問合せください。

●海外事務所 広島上海事務所 所長 西尾麻里(上海常駐) (株)チャイナワーク(中国専門コンサルタント業)へ運営委託

●海外ビジネスサポーター(10カ所、いずれも現地コンサルタント業)

大連 劉 瑛	大連真言諮詢服務有限公司	ホーチミン 石川 幸	AGS ホーチミン事務所
重慶 吉川 孝子	重慶吉涛実業有限公司	シンガポール 碓 知子	Attisse Pte Ltd
台北 皆川 榮治	新原経営顧問(股)公司	ジャカルタ 割石 俊介	PwC Indonesia
バンコク 富永 勇三	M&A Advisory Co.,Ltd.	チェンナイ 田中 啓介	Global Japan AAP Consulting LLP
ハノイ 中川 良一	BTD Japan	ニューヨーク 蟬本 睦	Focus America Corporation

【お問い合わせ】 **国際ビジネス支援センター** TEL 082-248-1400 FAX 082-242-8628

日本ギフト大賞2015広島県受賞(広島県で唯一)

熊野化粧筆メイクブラシ ピンクパール5本セット



NEW

半世紀以上続く熊野化粧筆メーカーによる、熊野筆職人ならではの<Made in Japan>にこだわった技術に加え、ワンランク長い毛を使用することで、しなやかさと弾力性をもたらし、「半差し」という手刀で悪い毛をしっかりと取り除くことで、チクチクしない化粧筆が完成しました。名入れも承っていますので、あなた

の大切な方への贈り物に「世界に1つの化粧筆」はいかがですか? お気軽にお問い合わせ・ご注文ください!

熊野筆 宮尾

Q検索

有限会社 宮尾産業

〒731-4221 広島県安芸郡熊野町出来庭5丁目10-5
TEL 082-854-0337 FAX 082-854-2901
http://www.miyao-kumano.com/ E-mail:info@miyao-kumano.com
[担当者名] 代表取締役 宮尾 典明

最高級の自然薯が解凍するだけで召し上がれます。

すりおろし自然薯



NEW

せんちゃんファームで栽培した滋味豊かな最高級の自然薯です。土壌作りからこだわり、種芋の植付けから収穫まで大切に育てた自然薯を素早くすりおろし、急速凍結した自然薯とろろです。

大切な方への贈り物にふさわしいプレミアムなケースに入れてお届けします。皮むき、すりおろし等の手間もいりません。解凍しお好みでめんつゆや薄口醤油をかけてお召し上がりください。

有限会社 仙石組

〒722-1416 広島県三原市久井町山中野2142番地
TEL 0847-32-6845 FAX 0847-32-8380
http://www.jinenjosenchan.com/ E-mail:ka@jinenjosenchan.com
[担当者名] 仙石 ヤチヨ

肉厚3ミリから300ミリまでの無欠陥高品質鋳造品

無欠陥鋳鉄製品

自社開発の精錬技術で不純物を減らして鋳物特有の欠陥を減らすことができます。



薄肉鋳物

薄肉化:肉厚3ミリまで薄肉化して製品、アルミ製品から代替することで大きくコストを下げられます。



厚肉鋳物

厚肉化:肉厚300ミリまでの製品をニアネットシェイプに製作することで、鋼材からの削り出しに比べて素材費、加工費ともに大きくコストを下げられます。

株式会社 木下製作所

〒732-0802 広島市南区大州4丁目11-39
TEL 082-285-2121 FAX 082-433-3028
http://kinoshitaseisakusho.co.jp/ E-mail:kinowrks@mint.ocn.ne.jp
[担当者名] 営業部 谷本 浩一

広島県の協力和福祉施設での試験設置を経て商品化

転倒防止・立ち上がり補助支柱 「サポートピラー」

NEW



1~3段の小階段・スロープ等での転倒防止支柱や、座った状態からの立ち上がりを補助する支柱としてお使いいただけます。高齢者や足腰に不安を覚える方の不安を解消し、より快適で質の高い日常生活を送るお手伝いをしたいとの思いから開発しました。1本支柱の为抓手りに比べて施工が簡単で、狭小地にも設置が可能です。カラーバリエーションは6色あり、鮮やかな色合いが設置場所に彩りを添えます。ご希望の色での製作も可能です。

株式会社 サンポール

〒730-8667 広島市中区南吉島2-4-5
TEL 082-244-4655 FAX 082-243-5914
http://www.sunpole.co.jp/ E-mail:a-nagai@sunpole.co.jp
[担当者名] 営業企画部 永井 綾

賛助会員募集のご案内

当財団は、企業の新技術・新製品開発、創業・新事業展開、経営革新、経営基盤の強化、国際化等の取組みを総合的にバックアップする公益法人です。当財団の様々な活動は、賛助会員のご協力によって支えられており、事業の充実と県内の地域ニーズに応じた活動を展開するため、賛助会員を募集しています。賛助会員(一般、国際)に加入いただきますと、財団情報誌の無料配付や、セミナー・講演会等の優先案内・参加料の割引など、各種特典がございます。皆様のご賛同を心よりお願い申し上げます。お気軽にお問い合わせください。

お問合せ先

賛助会員(一般):総務企画グループ
賛助会員(国際):国際ビジネス支援センター

TEL.082-240-7715 FAX.082-242-8627
TEL.082-248-1400 FAX.082-242-8628



公益財団法人ひろしま産業振興機構
HIROSHIMA INDUSTRIAL PROMOTION ORGANIZATION

〒730-0052
広島市中区千田町三丁目7番47号 広島県情報プラザ内
TEL.082-240-7715 FAX.082-242-8627